

## 6年生を送る会・校旗引継ぎ式

奈良尾小のリーダーとして在校生をリードした6年生に感謝の気持ちを表すとともに、思い出づくりをするために、標記の会を実施します。

- 1 日時 平成31年3月4日(月)  
9:10~10:10
- 2 会場 奈良尾中学校体育館
- 3 会順 (1) はじめのことば  
(2) 在校生の発表  
(3) 6年生にプレゼント贈呈  
(4) 6年生の発表  
(5) 校旗引継ぎ  
(6) 校歌斉唱  
(7) おわりのことば



- 各学年の出し物
- ・6年生との対決(1年)
  - ・「この人はだれでしょう？」クイズ(2年)
  - ・カップス、歌(3・4年)
  - ・万越太鼓(5年)
  - ・替え歌、合奏(6年)



各学年、当日に向けて一生懸命に準備をしています。急なお知らせですが、ご都合がつく方は、ご来校ください。

## 3月 学校行事予定

- 1日(金) あいさつの日、健康の日  
卒業式全体練習①(2校時)
- 3日(日) 第5回つばき里山まつり 万越太鼓披露  
\*諸般の事情により中止
- 4日(月) 6年生を送る会  
校旗引継ぎ式
- 6日(水) 卒業式全体練習②(2校時)
- 7日(木) 全校遊び お話会(「ばる」の皆様)
- 8日(金) 卒業式全体練習③(2校時)  
ALT(サマンサ先生)との学習
- 9日(土) 福見保育園卒園式
- 11日(月)~22日(金) 卒業式前・学年末大掃除期間
- 12日(火) 卒業式予行練習(2・3校時)
- 13日(水) 巡回図書来校
- 14日(木) 奈良尾中学校卒業式
- 18日(月) 第5回卒業証書授与式 9:30~
- 21日(木) 春分の日
- 22日(金) 平成30年度修了式、お別れ式
- 23日(土) 学年末・学年始め休業日~4/7(日)
- 4/8(月) 始業式、奈中入学式
- 4/9(火) 入学式 9:30~
- 4/17(水) 授業参観、学級懇談会  
育友会総会
- 4/26(金) 歓迎遠足



## 「ごめんなさいが言えますか?」

ある小学校での出来事です。その日の授業が終わるころ、三十代半ばの母親が学校に駆けつけてきました。担任の先生が廊下に出てくると、「すみません。ちょっとうちの〇〇に会わせてください」と頭を下げてクラスの子どもたちにもこう言いました。「皆さん、私は〇〇の母親です。〇〇が、このクラスの4人の方にいじめをやっているということです。……〇〇、ここに来なさい」

母親は我が子呼び寄せると、きっぱりした口調で続けました。

「あなたがこれまで、いじめた方の名前を一人ずつ呼んで、これまでのことを謝り、それからクラスみんなにも謝り、先生にも謝り、みんなにこれからは二度としないことを、ここではっきり誓いなさい。あなたが誓うまで私はここを動きません」〇〇は「ごめんなさい。もう、しません」と素直に5回頭を下げました。先生と母親にも同じように謝りました。すると、母親は涙を流しながらこう言ったのです。

「皆さん、本当にすみませんでした。特に4人の方申し訳ありませんでした。〇〇にこんなことをさせた責任は私にあります」

人は一人一人姿や考え方、することは違っていても、人間であることは同じ。これを忘れて勝手に人を差別すると、〇〇はもう人間でなくなる。このことは、何度も何度も言い聞かせてきました。でも〇〇は、わかっているといいながら、何もわかっていなかったのです。このクラスの中で〇〇が一番最低の人間です。

でも、私の子どもですから、どんなことがあっても〇〇を信頼しながら、人を差別しないような人間に必ずします。子どもの心を育てるのは親の責任ですから。

私は、〇〇にいじめられた方のことを思うと、いつまでも涙が止まりません。心からお詫びします。差別のないクラスをつくってください。もし〇〇がさっき誓ったことを守れるような人間になったら、〇〇とつき合ってください。お願いします。

お母さんの目が届かない、学校での出来事です。しかし、潔く「親としての不完全な自分」を認めて反省し、また、「不完全な子ども」の未来を信じて、率先して行動を起こしたのです。そんなお母さんの後ろ姿が、子ども自身の反省を引き出したのではないのでしょうか。